

# 志小安全・防災だより



H30.6.25 NO.14  
安全・防災担当：早坂 潤

## 学校の消防設備について詳しく勉強しました！

14日(木)に、4年生の子どもたちが消防署の方々から校内の消防設備について詳しく教えていただきました。防火戸、屋内消火栓、火災感知器、消火器、誘導灯など学校の中にはいろいろな消防設備が備わっていますが、いざというときにどのような役割を果たすのかまでは、つかめていないのが現状でした。今回の勉強会を通して、子どもたち、そして私たち教師も消防設備に対する新たな知識を身に付けることができました。学校にある消防設備のほとんどが、デパートやホテル等にも備わっているものであることから、今回の勉強会で学んだことは、いざというときにどこでも役立つ知識であるということ吉田消防署長さんが語っておられました。この勉強会は、27日に1年生を対象に行われます。消防署の方々、1年生にも分かってもらえるような勉強会にしようといういろいろと考えてくださっているのです、とても楽しみです。子どもたちの消防設備への知識が少しでもあることで、これからの避難訓練等へ臨む姿もまた変わってくることでしょう。普段から子どもたちに話している、「自分の命は自分で守る」ことにもしっかりつなげていきたいです。



吉田署長さんを初め3名の消防署の方に来ていただきました。



消火栓の扉を開けると、15mのホースが2本入っていました。



消火器に入っている薬剤は火災の種類によって違いました。

## ～ もし、登下校中に大阪のような大きな地震が発生したら ～

19日、業前の安全タイムで、各担任から大阪を中心に発生した大地震の話に基づき、日頃の訓練を真剣に行うことがいかに大切であるのかを話しました。放課後には、スクールバスで登下校している子どもたちを対象に、バスの中で地震等の自然災害が発生した場合の避難の仕方の確認が行われ、子どもたちがいざというときに自分の身を守るためにどのような行動を取らなければならないのかを考えさせました。ご家庭においても大きな地震に対する備えを話し合っただけたらと思います。

